

こいしわらがわ

小石原川ダム洪水貯留による河川水位低減効果について

みずしげんきこう
独立行政法人水資源機構が管理する小石原川ダム（福岡県朝倉市）では、8月15日からの降雨により増水した河川水の一部をダムへ貯め込む「洪水貯留」を行いました。

この洪水貯留により、小石原川ダムの下流約22キロメートルにある栄田橋地点^{さかえだばし}では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.65メートル低減できました。

今回の防災操作は、

筑後川水系小石原川の小石原川ダム流域では、九州北部に停滞した前線に伴う豪雨により、8月15日から18日までに総雨量約230ミリメートルの降雨を記録しました。

この降雨により小石原川ダムでは、約145万立方メートルの洪水を貯留しました。最大流入量毎秒約77立方メートルの時に、約99.8%に相当する毎秒約76立方メートルの水をダムに貯留することで、河川水位の上昇を抑える防災操作を行いました。



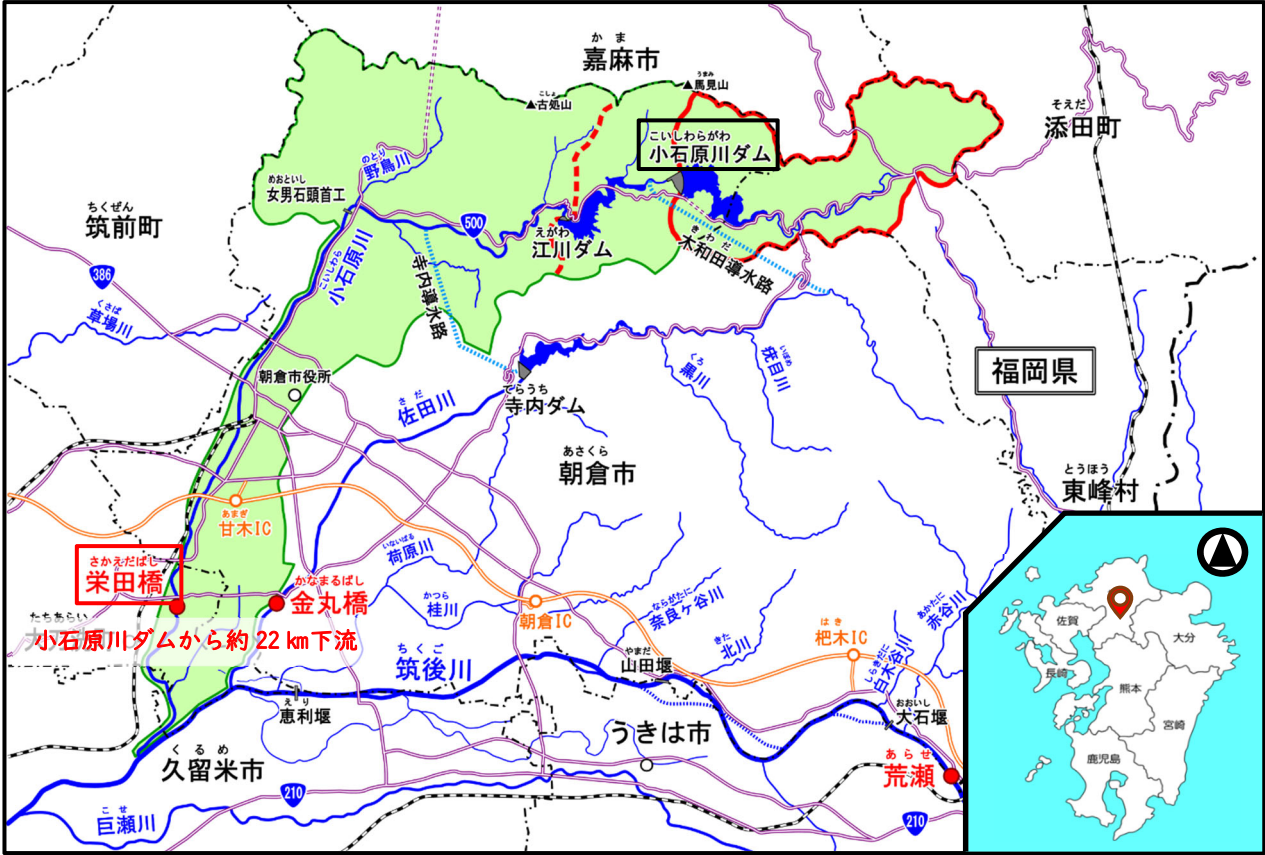
独立行政法人水資源機構
ちくごわじょうりゅうそうごうかんりしょ
筑後川上流総合管理所



令和4年5月1日
水資源機構は前身の
水資源開発公団の
設立から
60年を迎えました。

小石原川ダム位置図

小石原川ダムは、小石原川（筑後川河口から約40 km）の約25 km地点に位置する。



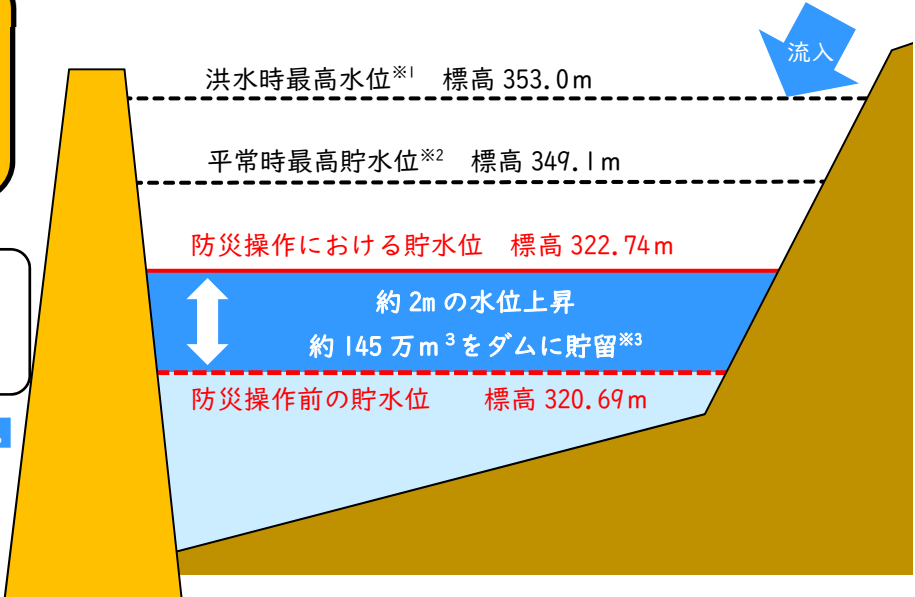
小石原川ダムの防災操作

【流入量】
ダムに流れ込んだ水の量
①最大毎秒約77立方メートル

ダム防災操作 YouTube 動画

最大流入量のうち、約99.8%の毎秒約76立方メートル(①-②)をダムに貯めました。

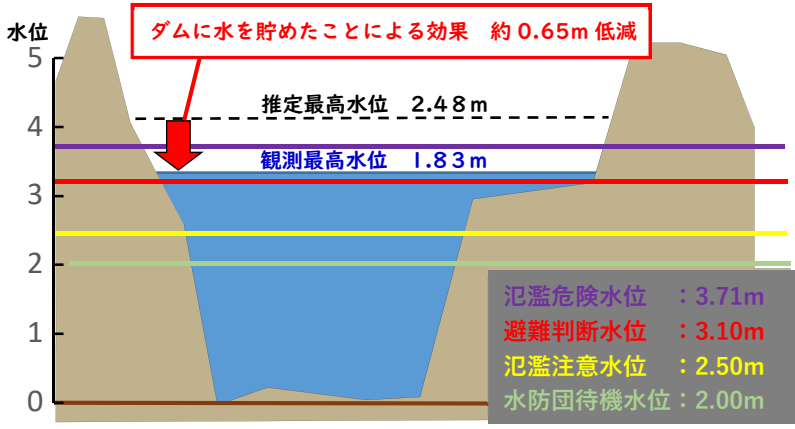
【放流量】
ダムから下流河川へ流した水の量
最大流入量時の放流量
②毎秒約0.15立方メートル



※1 洪水時最高水位 : 洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位
 ※2 平常時最高貯水位 : 平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位
 ※3 8月18日17時現在の速報値
 ※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

防災操作によるダム下流河川水位低減効果

栄田橋水位観測所地点 河川断面図 (イメージ)



【栄田橋水位観測所】

①ダムがなかった場合

推定最高水位 2.48m

※現時点で得られているデータ等を用いて、推定最高水位を算出していることから、今後修正とすることがあります。

②小石原川ダムの防災操作による河川水位

観測最高水位 1.83m

防災操作によるダム下流河川水位低減効果

①-②

栄田橋河川水位観測所付近の河川水位を

約0.65m低減

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。



河川水位の表記については

国土交通省 HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

栄田橋水位観測所地点 現地写真 (8月18日 9時撮影)



栄田橋水位観測所地点 現地写真 (洪水前)



小石原川ダム貯水状況

降雨前



撮影日時：令和4年8月17日 14:00
撮影時の貯水位：EL.320.96m



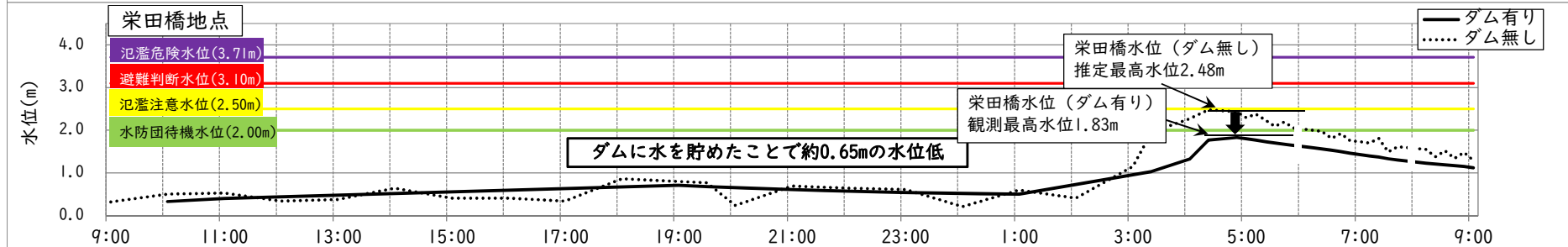
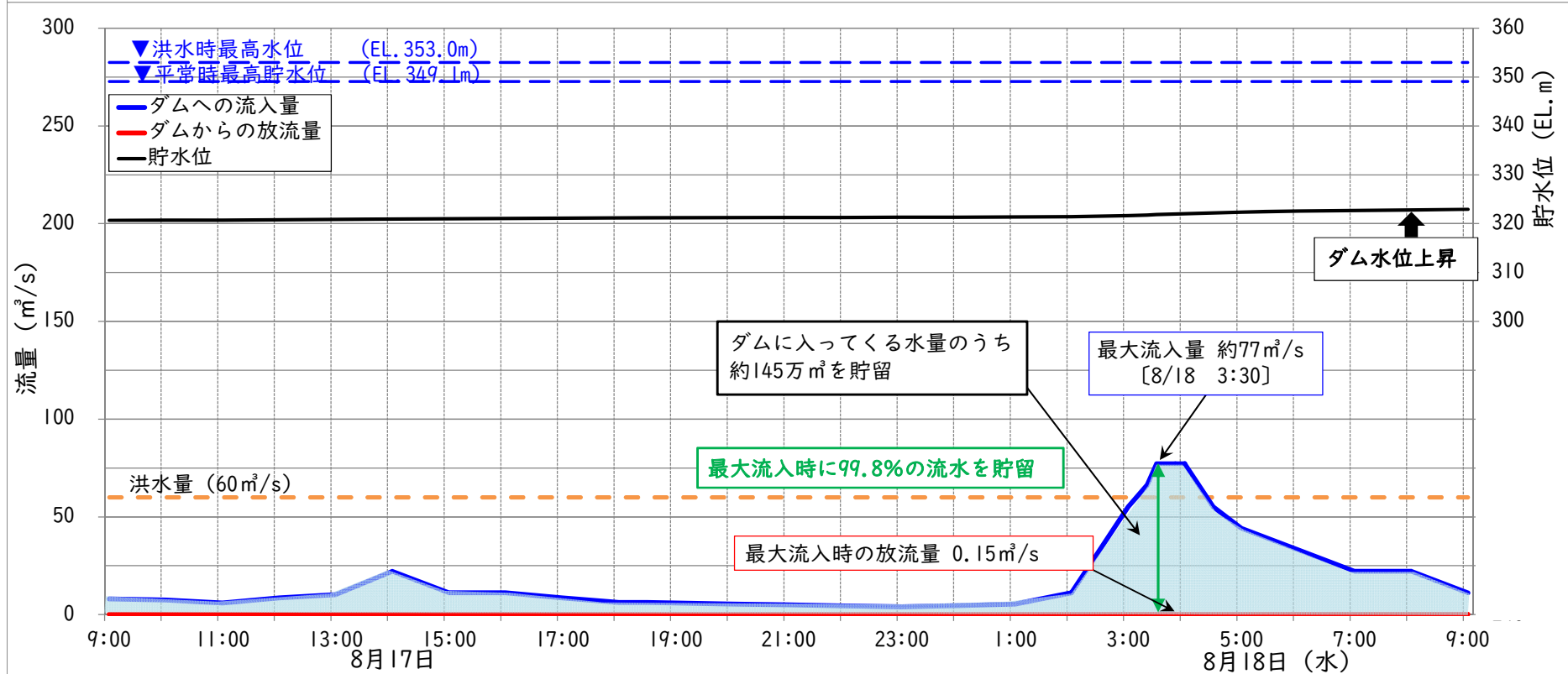
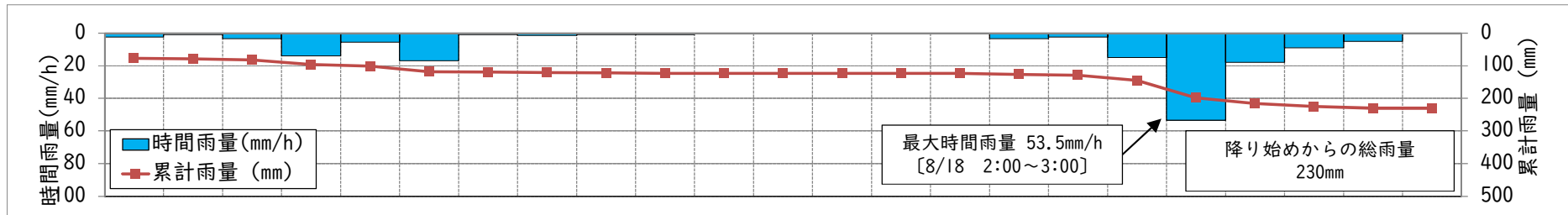
8月18日

14時頃の状況



撮影日時：令和4年8月18日 14:00
撮影時の貯水位：EL.323.25m

小石原川ダム防災操作図 令和4年8月17日～18日



※今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

※8/18 6時及び8時は河川水位データ欠測のため空欄としています。